

# はばたきプラン

## 八潮市小中一貫教育、次のステージへ。

これまで「学力の向上」と「豊かな心の育成」を目指し、成果を上げてきた八潮市の小中一貫教育。次のステージへの第一歩は、新たに「体力の向上」をテーマに加え、「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒の育成を目指していきます。

八潮  
スタンダード  
(基本的な授業展開案)  
を活用した  
授業実践

本市にとって学力の向上は喫緊の課題です。授業において、教員が基本的な授業展開案である『八潮スタンダード』を活用した授業を実践することにより、児童生徒の思考力・判断力・表現力をバランスよく育てていきます。

八潮スタンダード  
(基本的な授業展開案)

- つかむ・見通す
- 考える
- 深める
- まとめる

9年間を  
見通した  
体力向上の  
授業実践

「体力」は生きる力の源であり、運動を通して育まれる粘り強さや挑戦心、協調性等は、「学力の向上」や「豊かな心の育成」につながるものです。

今後は、教職員を構成員とする小中一貫教育推進検討部会の1部会として「体力の向上」を担う部会を新設し、9年間の体育授業のつながりを見据えた検討・実践を行っていきます。

いじめゼロを  
目指し  
「いじめ<sup>ゼロ</sup>0条例」を  
基にした  
授業実践

不登校児童生徒の解消を目指すとともに引き続き未然防止に重点を置いていきます。また、平成27年9月に制定された『八潮市みんながいじめをなくすための条例』(通称「いじめ0条例」)を基にした授業実践を全学級で行い、児童生徒の豊かな心の育成を図っていきます。



市内5中学校生徒会による  
市長へのいじめ撲滅合同提言

# 大原中学校ブロック 研究発表会

## 〈研究主題〉

### 「学力の向上と豊かな心を育成する 小中一貫教育の推進」

～学びを結ぶ ほかほかトライ(施設分離型として)～

#### ✓ほかほかトライとは？

3校のトライアングル(三角形)と“挑戦”の「TRY」、3校で共通して実践する「ほかほか言葉」(相手の心を温かくする言葉)を中心とする言葉を大切に実践を通して、豊かな心の育成を目指しています。

大原中学校ブロックは、研究主題を「学力の向上と豊かな心を育成する小中一貫教育の推進 ～学びを結ぶ ほかほかトライ(施設分離型として)～」とし、研究を進めてきました。

11月12日の発表会では、午前中は  
大曾根小学校と大原小学校で公開  
授業、午後は大原中学校で公開  
授業と全体会が行われました。

ほかほか  
トライ

#### ■大原中学校の公開授業

小中系統 授業	【算数・数学】(小5・6,中1) 「比例」「比例の利用」
	【社会】(小5,中1) 「地図の活用」
	【英語】(小6,中2) 「to不定詞」
	【道徳】(小4,中2) 「思いやり」
小中合同 授業	【特別活動】(小6,中3) 「家庭学習について」 「いじめについて」
	【生活】(小・中特別支援学級) 「特別支援学級3校交流会」
小中一貫 特色ある実践	【学級活動】(中3) 「いのちの授業(誕生学)」
3校合同 懇談会	【家庭教育学級】(各校PTA) 「あなたの子供の良いところさがし」 (親の学習)

平成27年11月12日に大原中学校ブロック(大原中学校、大曾根小学校、大原小学校)で研究発表が行われ、地域の方々をはじめ市内外から大変多くの方にご参加いただきました。当日は、3校の児童生徒が運営の一端を担うとともに小中一貫教育充実のための提言がなされ、本市の小中一貫教育10年の歩みを、児童生徒の変容を通して保護者や地域の方々にご覧いただきました。



児童生徒の提言

八條北小学校3年1組の合唱

全体会冒頭のあいさつの中で、大原中学校三宅校長からは、「八潮市の小中一貫教育は、子どもの姿がどのように変容したかで示すものである」との言葉がありました。その言葉を表すように、全体会では児童・生徒から、未来に向かって自分たちが考える小中一貫教育の取組について、工夫を凝らした提言があり、まさに児童生徒が主役となった研究発表会でした。

#### ■研究の概要

これまで大原中学校ブロックで、10年間に積み重ねられた児童生徒の交流や教職員の合同研修などを土台に、**育てたい力**を明確にし、9年間の連続性、系統性を重視した学習指導、生活指導を3校が一体となって進めることを大切にしました。

#### ■育てたい力

「自ら学び考える力」、「相手を思いやる心」、「自分を大切にすること」

#### ■研究組織(4部会)

##### 1. けいかく部会(主幹教諭・教務主任)

全体の企画・調整を一元化することで、3校の連携をスムーズに進めました。

##### 2. まなび部会

「自ら学び考える力の育成」を目指し、大原中学校ブロック共通「学習の10カ条(3校

共通の学校生活や学習のきまり)」「家庭学習の推進」「授業改善・小小連携・小中連携」「ノート指導の工夫・改善」を3校で共通して取り組みました。「学習の10カ条」は、2つの小学校から中学校への進学をスムーズにする目的で活用し、また、ノート指導においても指導方法を共有しています。

##### 3. こころ部会

「相手を思いやる心の育成」を目指し、「学習の10カ条(心構えや規律)」「ほかほか言葉」「あいさつ運動」に3校で共通して取り組みました。特に「学習の10カ条」では、学習の準備、時間を守る、授業前後のあいさつの3点を重視し、相手を思いやる「ほかほか言葉」は、全教育活動で意識しました。

##### 4. しえん・健康部会

「自分を大切にすることの育成」を目指し、部会を3つの部会(しえん、健康、体育)に分け、小中で連携し個別支援体制の充実、朝食の重要性を考え、朝食アイディアコンテストの実施、体力の記録の活用など、研究を進めました。

#### ■成果と課題

学習の10カ条やノート指導等から、3校で同じ指導ができ、学習規律の確立や学習習慣が身につけてきました。今後は、学習指導法の改善や学習習慣の定着を図ります。

#### 研究発表会参加者の感想



先生と子どもたちが心を一つに学力向上、豊かな心の育成に取り組んでいる姿に感銘を受けました。



「体育館までご案内します」という子どもの笑顔が輝いて見えました。小中一貫教育の取組が子どもたちの姿に表れていました。

ほかほか  
トライ

#### 児童・生徒からの4つの提言

- 1 高学年からの教科担任制の導入
- 2 中学生とのあいさつ運動の実施
- 3 高学年からの部活動体験の実施
- 4 全中学校でのいじめ撲滅運動の実施



## 小中一貫教育「はばたき2015」 合同報告会

平成28年2月23日、八潮メセナホールにおいて、小中一貫教育「はばたき2015」合同報告会を開催し、平成27年度の小中一貫教育の取組について報告しました。

報告会は、埼玉県中央大会に出場した八條北小学校3年1組による合唱からスタートし、続いて、青少年の主張大会で最優秀賞に輝いた大瀬小学校6年の津川華澄さんと八條中学校2年の儀間 且さんから素晴らしい発表がありました。また、教職員から小中一貫教育推進検討部会、大原中学校ブロック研究発表、秋田県小坂町派遣研修の報告があり、最後に小中一貫教育10年を記念して、石黒教育長の記念講演を実施しました。

- 小中一貫教育推進検討部会
- けいかく部会：家庭学習の推進、小中一貫教育アンケートについて
- まなび部会：八潮Basicの手引き、八潮スタンダードの作成について
- こころ部会：いじめをなくすための授業について
- しえん部会：支援ファイルの改善について

■大原中学校ブロック研究発表会の報告  
研究発表会の報告と、児童生徒からその後の取組について報告がありました。

#### ■秋田県小坂町派遣研修報告

小坂町立小坂小・中学校の授業を視察し、本市の授業改善に役立てることを目的として、11月9日～13日にかけて、小学校教頭1名、小学校教諭2名、中学校教諭2名を小坂町に派遣しました。5名を代表し、2名の教員から報告がありました。

○小中学校9年間で子どもを育てるという意識が強い。  
○授業は、子どもが考える時間や交流する場が確保されている。  
○1時間の授業の中で、確実に課題提示、まとめ、適用問題、振り返りを行っていた。

#### ■記念講演(石黒 貢教育長)

小中一貫教育を導入してから10年が経過しました。私は、現場の先生方のやる気、意気込みがなければ、この10年を迎えることはできなかったのではないかと思います。新しいことに取り組むときに、得て人はできない理由を探します。しかし、本市の先生方は、「できることから創めよう」と行事の交流やあいさつ運動など、小さなものを積み上げ、今日に至っています。まさに、本市の取組のひとつの特徴です。

学力の面で八潮の子どもたちを県や全国と比較するとまだまだ劣っています。しかし、全国や県の平均だけを越えればよいのではなく、9年間をかけて子どもを育成し、学年に応じた学力をしっかりと付けてあげることが、義務教育の大切なことだと思っています。

「生きる力」と言いますが、教科の点数だけではなく、人との関わりがもてる、好きなことに意欲をもって挑戦できる、人間的な優しさ、協調性など、すべて学力だと思っています。人と関わって自分を変えていく、これが人間の営みを長い目で見れば大きな学力です。学力は、学校という枠組みの中で身に付けていくものと、地域や社会の中で身に付けていくものがあり、それが一緒になったときに、素晴らしい児童生徒が誕生すると思っています。子どもは、いろいろな場面で伸びていく要素を持っています。その手助けを、私たち教員や大人がどのように関わっていかなければならぬのか、一緒に考えていただければ幸いです。小中一貫教育を始めて10年。いろいろな方たちに子どもを育てていただき、今や学校や教育委員会ではなく、八潮市民の小中一貫教育へと変貌を遂げつつあります。今後も、この原動力がある限り、そして地域や保護者の方がいれば、八潮の小中一貫教育が停滞することはないと思っています。



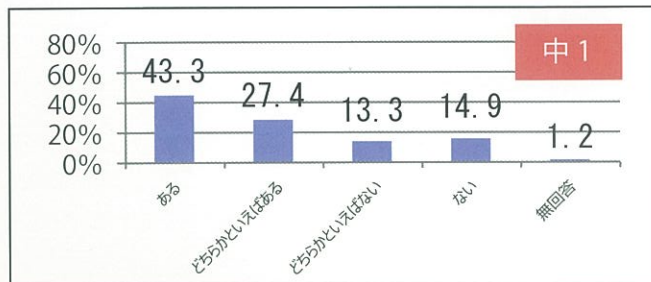
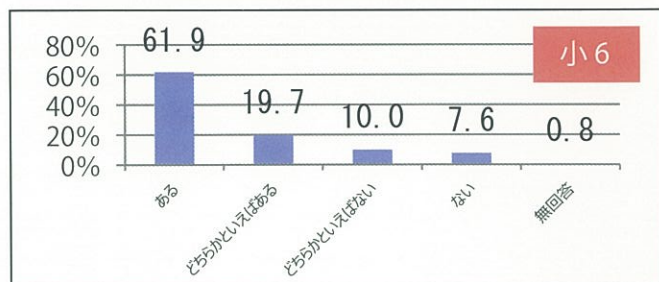
## 小中一貫教育のアンケートを実施しました

平成 27 年度に小中一貫教育 10 年の節目として、児童（小 6）・生徒（中 1）とその保護者の方々や市内教職員から意見をお聞きし今後の本市の小中一貫教育の充実に役立てようと、アンケートを実施しました。

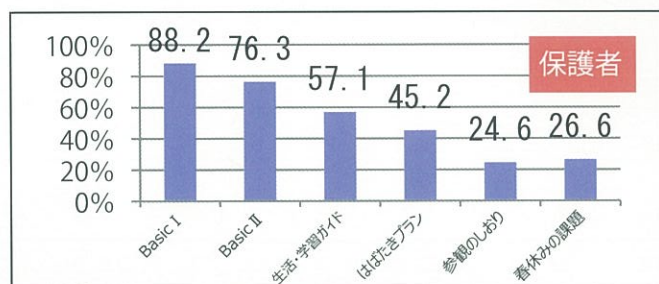
お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。一部を抜粋し報告します。詳細については、今後、八潮市のホームページに掲載する予定です。

### Q.今、将来の夢や希望はありますか。

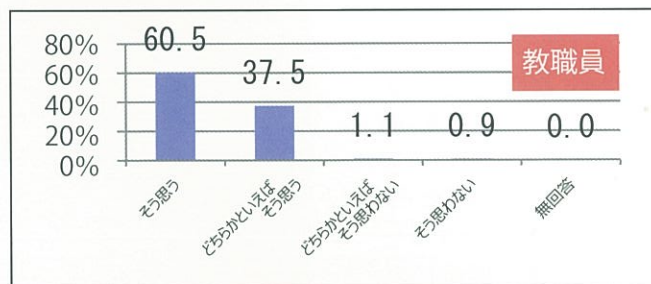
アンケートの結果から、将来の夢や希望を多くの児童生徒が持っています。確実な学力を身に付けさせ、仲間と豊かに関わられる児童生徒を育成し、子どもたちが未来に向かって夢や希望を持ち、はばたいていくことが小中一貫教育の究極の姿です。



### Q.代表的な取組の中で、ご存知のものに○をつけてください。(○はいくつでも)



### Q.児童生徒の健全な学びと育ちを保障するためには、9年間を一貫した取組が必要だと思いますか。



## 八潮市教育大綱を策定しました

### 基本理念

### 明日の八潮を担う人づくり ～『共生・協働』『安全・安心』を基盤として～

「まちづくりは人づくり」を基本に、次代を担う子どもたちや市民の皆さんが夢や希望を持って過ごすことができる八潮市を思い描き、「八潮市教育大綱」を策定しました。大綱は基本理念のもと、以下の4つの基本方針と12の基本目標からなっています。詳しくは、八潮市ホームページ（「八潮市教育大綱」）をご覧ください。

生きる力を育成し  
子どもたちの夢の実現に努めます  
■学校教育■

■社会教育■

学びと社会参加、体験を通じ  
全ての市民の自己実現に努めます

### 基本方針

地域と連携し家庭の教育力を高め  
子どもたちの確かな成長に努めます  
■学校教育■

■文化・コミュニティ■

文化の継承と創造、  
コミュニティの活性化に努めます

### 基本目標

1. 確かな学力と自ら学ぶ力の育成
2. 豊かな心と健やかな体の育成
3. 人権を尊重する教育の推進
4. 夢を抱き次代を創造する青少年の育成
5. 郷土愛を育み地域文化を創造する教育の推進
6. 平和な社会づくり
7. 国際化、情報化社会に対応した教育の推進
8. 助け合う地域社会づくり
9. 生涯にわたり楽しく学べる環境づくり
10. スポーツ・レクリエーションに親しむ環境づくり
11. 安全・安心な教育環境づくり
12. 望ましい学校教育環境づくり

問い合わせ

埼玉県八潮市中央一丁目2番地5 電話048-996-2111(内線398)  
八潮市教育委員会 学校教育部 小中一貫教育推進室